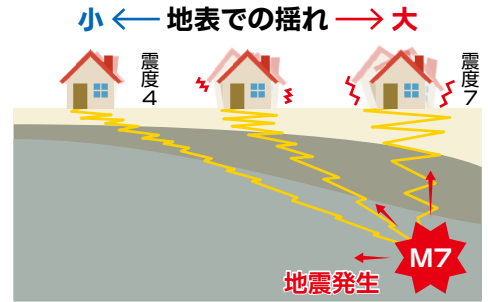


じしんさいがい 地震災害

しんど 震度とマグニチュード

震度は、ある地点における地震の揺れの強さを示します。このため、同じ地震でも震源からの距離などによって震度は変わります。マグニチュード(M)は、地震のエネルギーの規模を示します。マグニチュードが1増えると地震の規模は約32倍に増大します。震度は場所ごとに決まりますが、マグニチュードは震源から出てくるエネルギーの大きさによって数字が決まるので、大きな地震ほど数字が大きくなります。



震度と揺れの関係

5弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの人々が、身の安全を図ろうとする。一部の人々は、行動に支障を感じる。 ● 安定しない置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。 	5強	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に恐怖を感じる。多くの人々が、行動に支障を感じる。 ● 棚にある食器類、書棚の本が多く落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。
6弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。ドアが開かなくなることがある。 ● 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 	6強	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることができず、はわないと動くことができない。 ● 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。 ● かなりの多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 ● 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。 ● ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。 ● ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。 		

じしんはっせいご こうどう 地震発生後の行動

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- 机やテーブルなどの下へもぐり、身を守りましょう。
- 倒れてくる家具や落下物に注意しましょう。



1~2分

揺れがおさまったら

- ガスの元栓を閉めましょう。
- 火元を確認し、出火していたら初期消火しましょう。
- 家族の安全を確認しましょう。
- 靴を履き、ガラスの破片などから足を守りましょう。
- 非常用持出し品を身近に用意しましょう。



3分

みんなの無事を確認、火災の発生を防ぐ

- 隣近所の安全を確認しましょう。特に1人暮らし高齢者がいる世帯には積極的に声をかけ、安否確認をしましょう。火が出ていたら、大声で知らせ、協力して消火しましょう。
- 大きな地震の後には余震にも注意しましょう。



5分

テレビやラジオなどで正しい情報を

- テレビやラジオなどで災害情報を確認し、SNSなどのデマにだまされないようにしましょう。
- 電話はなるべく使わないようにしましょう。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難しましょう。避難の際、ブロック塀やガラスの落下に注意しましょう。
- 避難の際、車はなるべく使わないようにしましょう。
- 通電火災を防ぐため、電気のブレーカーを落としましょう。

10分

協力して消火活動、救出活動を

- 隣近所で協力し、消火・救出活動を行いましょう。あわせて消防署等へ通報しましょう。
- 災害発生から数日間は外部からの応援がすぐに来るとは限らないので、生活必需品は備蓄でまかないましょう。

数時間

3日

- 災害情報、被害情報を収集しましょう。
- 自宅などが壊れた場合、絶対に入らないようにしましょう。
- 引き続き余震に注意しましょう。

